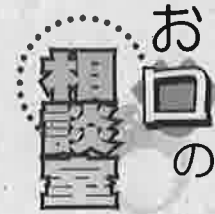


根治には外科手術必要



お口の

「ツク」が挙げられます。昨夏からは放射線治療の一種「ガンマナイフ」も保険適応となりました。

しかし、三叉神経痛はその多くが、顔の感覚を支配する「三叉神経」が脳から出る部分で血管と接触して起こります。根治するためには「微小血管減圧術」という脳外科の手術をして血管の接触を取り除く必要があります。手術以外の方法では再発の可能性がありません。

三叉神経痛には全く発作の起こらない寛解期があるために自己判断で服薬を中止する方もいらっしゃいます。しかし、残念ながら自然治癒することは少ないため発作が再発します。中には再発した際になかなか薬が効きづらい状況になる方もいらっしゃいますので、長期の服薬が心配になられるようでしたら必ず主治医に他の治療法も含めて相談することをお勧めします。(県歯科医師会医療情報委員会)

【問い】左頬に電気ショックのような痛みが出始めました。口腔(こうくう)外科で「三叉(さんさ)神経痛」と診断されました。この病気について知りたいのです。痛みが続く限り、薬を飲み続けるのか、他に方法(手術とか)があるのかなのか。どういうことに気をつけて生活すればいいのか教えてください。お願いします。(島原市、66歳無職女性)

三叉神経痛の治療

【答え】三叉神経痛は、ひげそりなどで顔に触れた際に「電気が走るような」痛みを生じることが特徴です。「ヒトが体験する痛みの中で最も強い痛み」と表現されることもあるほどの激痛です。薬が効くまでは大変つらい思いをされたのではと拝察いたします。

日本神経治療学会の資料によると、日本では男性は10万人に2・7、10・8人、女性では5・20・2人の割合で発生し、50代以降での発症が多い疾患です。診療科としては脳神経外科や神経内科などの領域になりますが、歯科を受診される方もいらっしゃいます。

治療には第一選択薬としてカルバマゼピンなどの抗てんかん薬が使われることが多いです。しかし、血液中の薬の濃度がしっかり保たれていることが必要で、定期的に受診して薬の量を調節したり、副作用が出ていないか確認したりする必要があります。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。